

生まれ変わっても医師になるとしたら、 何科を選択されますか？



調査概要

プラメドの医師会員に聞きました！とは…

「プラメド会員の先生がほかのプラメド会員の先生に聞いてみたい」テーマで実施するアンケートです

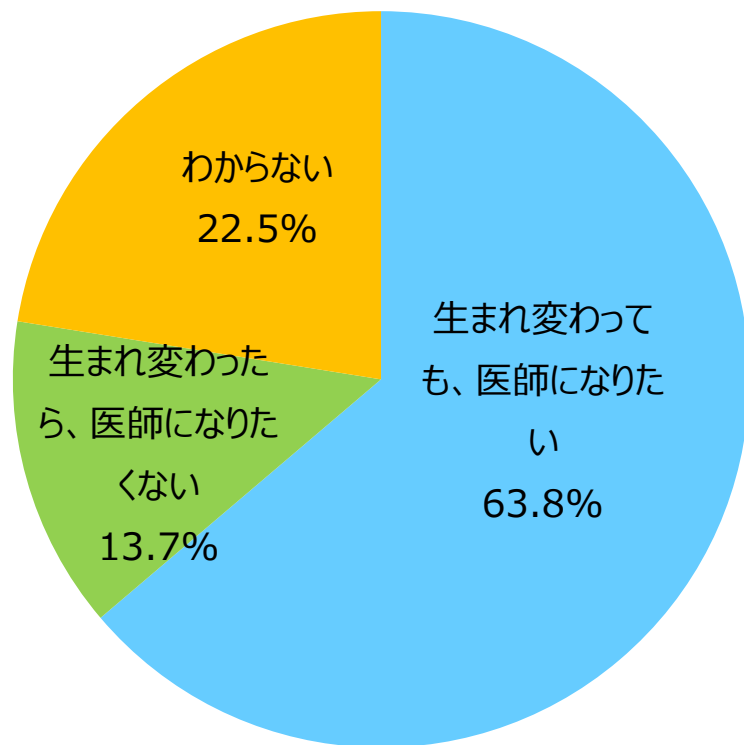
- ◆調査名：生まれ変わっても医師になるとしたら、何科を選択されますか
- ◆調査期間：2016年6月15日（水）～23日（木）
- ◆調査手法：インターネットアンケート
- ◆対象者：プラメド会員の先生
- ◆回答者数：1,099名

- ◆調査概要：
 - ・生まれ変わっても医師になりたいですか
 - ・もし医師になるとしたら何科を選択されますか

※調査結果内のN表記について：N=総回答者数、n=一部の回答者数を表しています。

Q.生まれ変わっても、『医師』になりたいですか

◎6割以上の先生が、「生まれ変わっても、医師になりたい」と回答された



N=1,099

『生まれ変わっても、医師になりたい』理由

生まれ変わっても、医師になりたい理由	回答者数
やりがいのある仕事だから	227
安定した収入が得られるから	74
他に思いつく職業がない・他の職業を知らないから	48
素晴らしい仕事・生きがいのある仕事だから	39
今の仕事が好き・仕事が好きだから	36
天職だと思っているから	31
現状に満足しているから	30
人のために役立つ仕事だから	30
充実感・達成感があるから	22
自由裁量がある職種だと思うから	17

- ◎ 「生まれ変わっても、医師になりたい」理由として「やりがい」という言葉が最も多く挙げられた。仕事は激務で大変だが、それを超えるやりがいを感じるという回答が多く見られた。

『生まれ変わったら、医師になりたくない』理由

「生まれ変わったら、医師になりたくない」理由	回答者数	(医師以外で) 就きたい職業	回答者数
他にやりたい職業があるから 違う職業を経験したいから	86	会社員	21
勤務の厳しさに相対するほどの収入がないから	13	アーティスト・クリエイター	15
激務であるから	11	学者・研究者	14
自由な時間が持てないから	9	スポーツ選手	9
責任が重く大変であるから	8	公務員	9
仕事でのストレスが多いから	7	職人	7
		建築家	6
		政治家	6
		農業	6
		宇宙関連	6

◎ 「生まれ変わったら、医師になりたくない」理由として、「他にやりたい職業がある・違う職業を経験したい」という回答が多く挙げられた。

(医師以外で) 就きたい職業は、当直・休日勤務がないという理由で「会社員」が最も多く、次いでミュージシャンや芸術家など「アーティスト・クリエイター」が挙げられた。

三番目には、脳科学の研究者や海洋学者など「学者・研究者」が挙げられた。

『生まれ変わっても、医師になりたい』理由（自由回答抜粋）

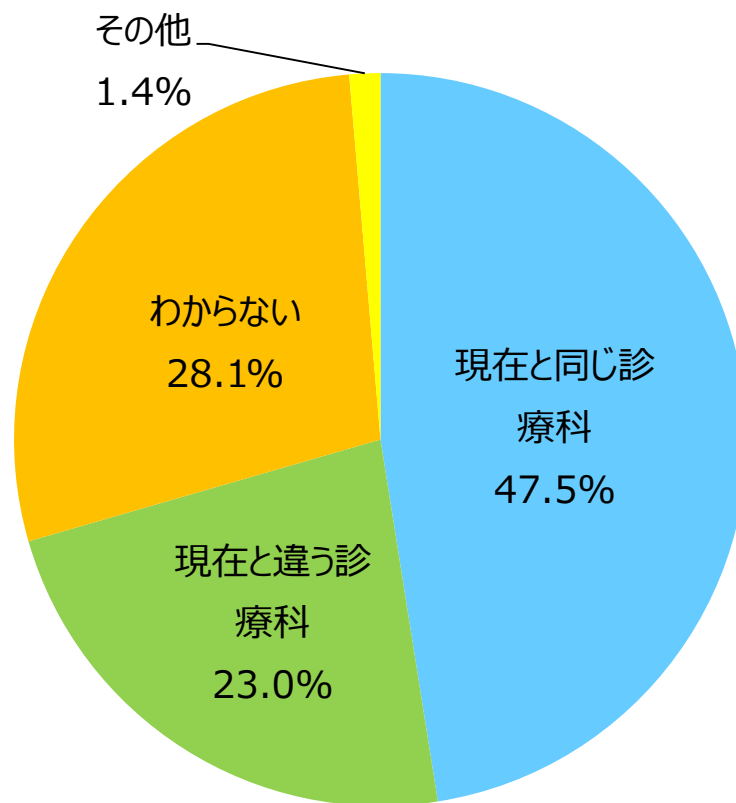
- 辛いけど、毎日が少しずつ違う日になるので飽きることがない
- 社会的に尊敬を受ける立場にありそれなりの収入が得られる
- 人の命を守る最高の職業である
- 今、この職業を選択して良かったという実感がある
- 本当に素晴らしい仕事だと思う。患者さんの症状が改善し、ともに笑顔になれるときは、本当に医師になってよかったと感じる
- とても強いストレスがあり、逃げだしたいときがあるが、必要とされているところで働いていることに自分の存在意義を感じている
- 面白い。苦労しても結果による部分もあるが感謝される職業である
- 面白い職業なので、違う分野もやってみたい
- 現在の仕事に満足感と達成感があり日々充実している
- 毎日忙しく不満が募ることもあるが、患者さんから感謝されたときの喜びが忘れられない
- 人とのコミュニケーションが楽しい。人間の命を預かる荘厳な仕事である
- 様々な仕事内容の中から自分がやりたいことをある程度選択可能であり、興味のある仕事をするのが可能である
- 職業として誇りを持って、社会に貢献ができる
- 勤務・自営いずれでも可能で、求められる領域・地域が広い
- 人の命を預かる重要な仕事
- 天職だと感じている
- 他にさらに良い職業は考えつかない
- 医療は常に進歩し、勉強を続けられるので飽きない
- 非常にやりがいがある。まだまだ、やりたいことがあり一度だけの医師人生ではやりたいことがやり尽くせない

『生まれ変わったら、医師になりたくない』理由（自由回答抜粋）

- 他の分野の仕事にチャレンジしたい
- プライベートの時間が持てない
- 仕事のストレスが大きい。失敗した時に大問題、人の生命に関わる可能性がある
- 世の中には面白い職業が他にもたくさんある
- 仕事の拘束時間が長い割には、給料が高くない。時間がないので家庭を大切にできない
- 医師である現状に満足できていない
- 今回の人生で十分やったから、次は違うことをしたい
- 色々な経験をしたい
- 規則正しい、安定した生活を送りたい
- 人の命を左右する職業は辛い
- 楽しみながらできる仕事をしてみたい
- 激務である

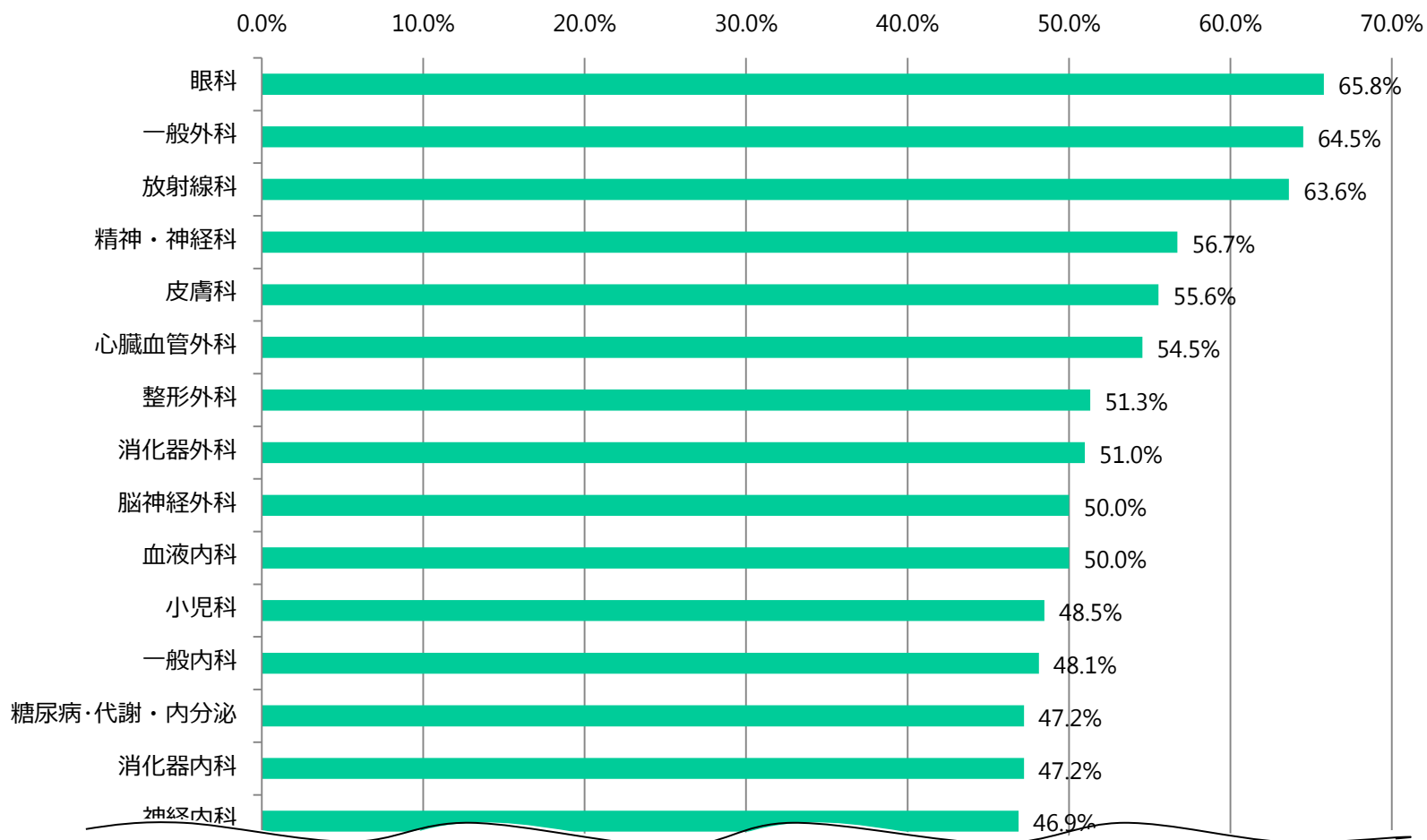
生まれ変わっても医師になるとしたら、何科を選択されますか？

◎約半数の先生が、『現在と同じ診療科』を選択したいと回答された



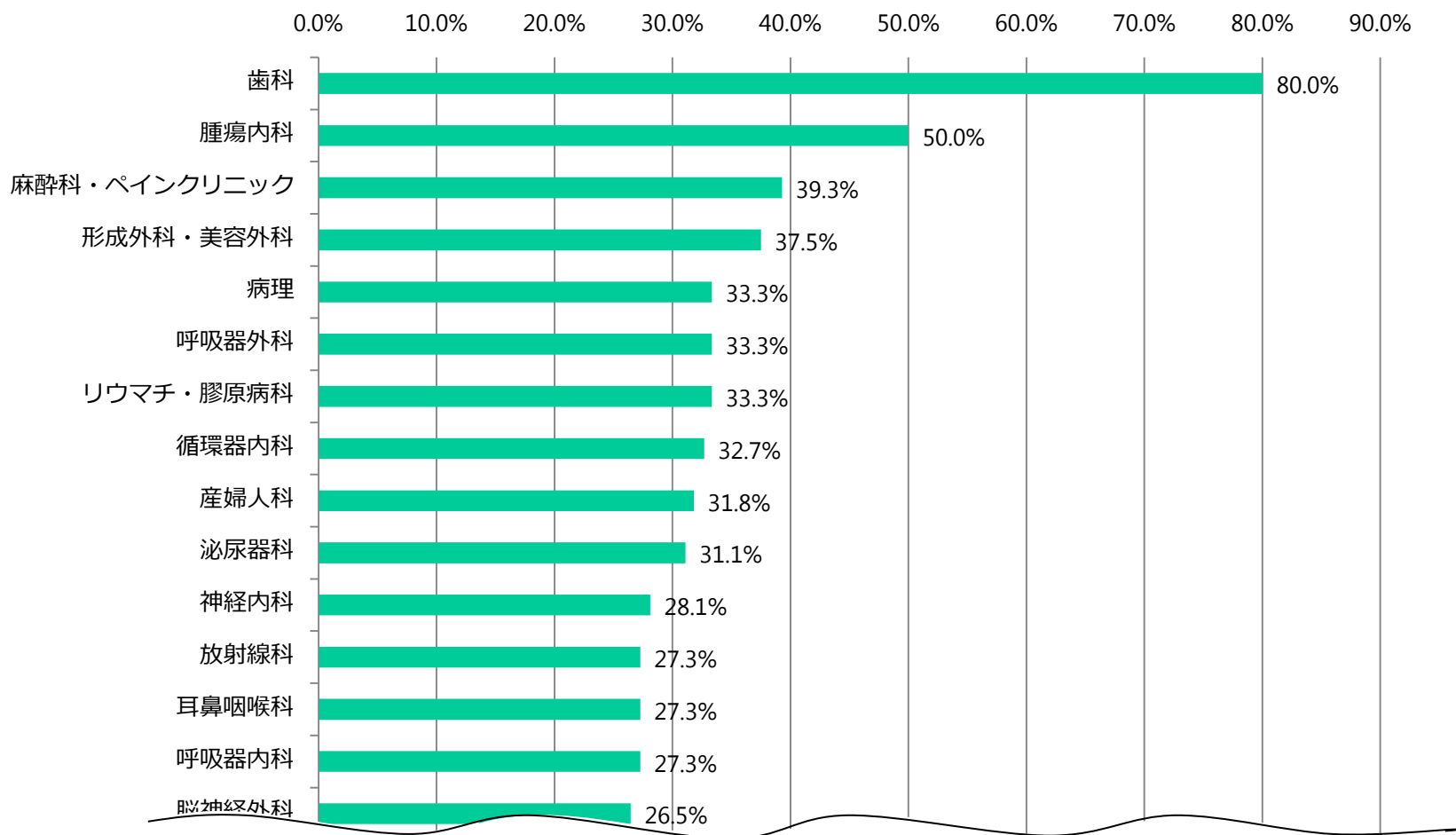
N=1,099

生まれ変わっても 『現在と同じ診療科を選択する』 先生の診療科別の割合



◎生まれ変わっても、「現在と同じ診療科を選択する」と回答された先生の診療科別の割合として、「眼科」の先生の6割以上が同じ診療科を選択したいという結果となった。
次いで、「一般外科」、「放射線科」の先生がそれに続いた。

生まれ変わったら『現在と違う診療科を選択する』の診療科別の割合



◎生まれ変わったら、「現在と違う診療科を選択する」と回答された先生の診療科別の割合として、「歯科」の先生の8割が違う診療科を選択したいという結果となった。

次いで、「腫瘍内科」、「麻酔科・ペインクリニック」の先生がそれに続いた。

生まれ変わったら『現在と違う診療科を選択する』先生が 「生まれ変わったら選択したい」診療科

順位	「生まれ変わったら選択したい」診療科
1位	一般内科
2位	一般外科
3位	眼科
4位	皮膚科
5位	麻酔科・ペインクリニック／形成外科・美容外科／放射線科
8位	整形外科
9位	小児科／精神・神経科

◎「生まれ変わったら選択したい診療科」として、全身を細かく全般的に診られる、疾患数が多いという理由で「一般内科」が最も多く、次いで、一度手術を経験してみたい、治療に直接関わることができるなどの理由から「一般外科」が挙げられた。

三番目には、救急対応がない、自由診療の枠が多いなどの理由から「眼科」が挙げられた。

生まれ変わっても『現在と同じ診療科を選択する』理由（自由回答抜粋）

内科系

- 内科系の総合診療は、幅広い分野に跨っていて興味がつきない（一般内科）
- 患者さん、領域の幅が広く、common diseaseからまれな変性疾患まで診られる。進歩のある分野である（神経内科）※ common disease：通常疾患
- 救急疾患の患者が多くやはりしんどいが患者さんの救命というやりがいがある（循環器内科）

外科系

- 知識と技量を兼ね備えた魅力的な仕事である（呼吸器外科）
- 手術で人を治すことができる。そのことに魅力を感じている（消化器外科）
- 健康寿命に貢献し、より快適に生活ができる環境のお手伝いをしていると考えている（整形外科）
- 仕事の達成感や充実度が高い（一般外科）

その他の診療科

- チーム全体が、患者の利益になることを考える全人的な医療が提供できる科だと思う（小児科）
- 内的な領域と外科領域が混在し、興味が尽きない科だと思う（耳鼻咽喉科）
- 目に見えない心を扱うことに興味が絶えない（精神科・神経科）
- 子供という「未来」ある存在と関われる科だから（小児科）
- 唯一、「おめでとう、また来てね。」と言える診療科だと思う（産婦人科）
- 臨床、研究などやりたいことがやり尽くせない（泌尿器科）
- 画像診断では把握できない疼痛を、患者の体を触れることにより痛みの局在診断ができ、それにより他施設で解決できなかった疼痛疾患を治癒させることができる（ペインクリニック）
- 相談されたらどんな訴えでも適切な対応をできるお医者さんでありたい（総合診療科）
- 専門性が高く学問的に面白い。世代を問わず社会からニーズがあると思う（眼科）

生まれ変わったら、『現在と違う診療科を選択する』理由（自由回答抜粋）

内科系

- 症例が多く、幹細胞移植や免疫療法など最先端の医療ができるから（小児科→血液内科）
- カテーテル治療が格段の進歩があり、今後も進化が期待できるから（一般内科→循環器内科）
- 化学療法は発展性が高いから（消化器外科→腫瘍内科）
- 全身管理ができる。開業がしやすいから（形成外科・美容外科→一般内科）

外科系

- 手術手技により直接患者を治す、という達成感を得られるから（一般内科→一般外科）
- 傷一つ残さない技術に惚れ惚れしている。重大な疾患から自然の老化まで幅広いテーマを感じるから（神経内科→形成外科）
- 世界的にも日本が卓越している分野であるから（脳神経外科→心臓血管外科）
- iPS細胞が発達して、移植による治療が今後メインになると思うから（小児科→移植外科）

その他の診療科

- 女性としての経験や視点を生かした診療をしてみたい（麻酔科→産婦人科）
- 今後さらに高齢者が増えて、脳卒中や骨折患者さんが増えることにより、リハビリテーション科のニーズが増えると予想されるため（脳神経外科→リハビリテーション科）
- 癌に別の立場から関わってみたい（整形外科→放射線科）
- 高齢化社会において、泌尿器科は特に生命維持とADL確保に重要であるから（麻酔科→泌尿器科）
- 自分が受診する際一番怖い診療科の為、患者さんにとって怖くない治療を開発したい（歯科→眼科）
- 救急がしっかり対応できれば、医療全体に自信が持てるから（一般内科→救急救命科）
- あまり救急疾患がない。命に関わる事態が少ない（泌尿器科→皮膚科）
- 事件の原因究明に魅力を感じるため（消化器外科→法医学）

プラメドの医師会員に聞きました！はくプラメド会員の先生がほかのプラメド会員の先生方に聞いてみたいテーマで実施するアンケートです。アンケート結果は、毎回私たちが普段知りえない先生方の勤務状況やお考えについて新たに知る機会となっています。

今回の調査結果からは、「医師の仕事は忙しく、自由な時間が取れないといった面もあるが、そういったことを差し引いてもやりがいを感じる職業である」とお考えの先生が多くいらっしゃることがわかりました。

また、「生まれ変わっても現在と同じ診療科を選択する」と回答された先生が約半数に上り、現在の診療科において、先生方が達成感や満足感を得ており、充実した日々を送られている様子が伺えました。その他にも、現在の診療科でまだやるべきことが残っているといったご意見もありました。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。プラメド社員一同

社名にこめられた想い

Platform for Medicine = PLAMED

社名の「PLAMED(プラメド)」は、「Platform for Medicine」の略です。

プラメドは、その社名に込められた通り、医学の目的のために活動をしているインテリジェントグループ企業です。

この社名に則り、医療現場の“現状”“問題”“解決策”を正確に把握し、医療現場や社会に迅速に伝えるための仕組みを提供していきます。そして、「医療現場からの発信」を掛け声に、より良い医療環境づくりのためのお手伝いをしていきます。

